



中央区中央消防団  
第5分団

大谷 博一 さん

執筆者 分団長 白銀 敏孝

神戸の中心地、三宮を拠点として活動する、われらが中央消防団第5分団のヒーロー、その人は、大谷博一部長です。

クリーニング業を経営する傍ら、消防団に入って10余年、本職がクリーニング屋か消防団か分らないくらい、消防団員として大活躍されている大谷さん。特に、阪神・淡路大震災のときの活躍は、今や中央消防団第5分団の伝説となっているほどです。

## 地域の安全安心を守る中央のヒーロー

のガス栓を閉めてまわったり、防火・防火のために夜警をしたりと、寝る間を惜しんで活動した大谷さんは、約1カ月の間、消防団の服を着たままだったため、その服はボロボロになっってしまったとか。実は震災の翌日、大谷さんには3番目の子どもが生まれたばかりでした。そんな大変なときでも、地域のために誠心誠意働いてくれる大谷さんに対して、地元の人たちは大変厚い信頼を寄せているのです。

また、第5分団は昨年9月に行われたポンプ操法大会に参加しましたが、大谷さんは選手ではなかったにもかかわらず、6月から日曜日ごとに行う練習に毎回参加し、ポンプの運搬・設営・点検を行い、選手を叱咤激励して、練習を盛り上げてくれました。そんな縁の下の力持ちである大谷さんあってこそ大会に参加で

きたと、団員一同、感謝の念にたえませぬ。

日常の活動として  
は、救急イ  
ンストラク  
ターとして  
講習会など  
で心肺蘇生  
法を指導し

たり、地域や学校の行事に積極的に参加されたりしています。もちろん火災発生時は、消防団員の中で一番早く現場に到着されます。

このように、八面六臂の大活躍の大谷さんも、家族の理解や援助がなければ到底活動することができないと語り、家族（特に奥さん）への感謝を忘れません。そんな団員や地元の人々に信頼される、心優しいヒーロー大谷さんの、今後のさらなる活躍を期待します。

